



福島県南会津事務所建築住宅課  
副主任建築技師 芹田 航

## 国立公園内の建設工事に伴う主な留意点

施工場所: 檜枝岐村燧ヶ岳地内

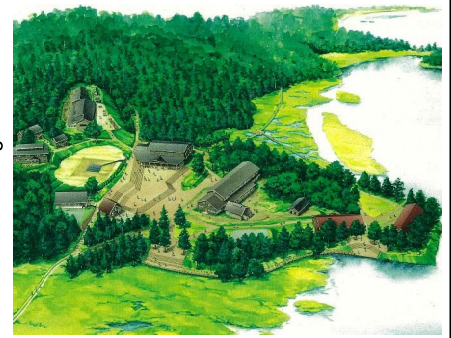
### 1. 尾瀬沼園地整備事業について

#### ①尾瀬沼の既存施設における主な問題点

- ・既存ビジターセンターの老朽化
- ・尾瀬沼園地内の建築物が無秩序に分散していて使いにくい。
- ・尾瀬沼園地内を周遊する園路が無い。
- ・離合集散の場所、拠点性のある広場が見当たらない。

#### ②対策としての整備コンセプト

- ・尾瀬沼周辺の中心地として、拠点機能を充実させる。
- ・尾瀬沼湖畔の美しい展望をより一層、楽しめるようにする。
- ・わかりやすい歩道を整備し、踏圧による園地内の裸地化への対策を行う。



### 2. 尾瀬沼博物展示施設の概要

#### ①構造・規模面積(令和2年度竣工予定)

- ・鉄骨2階建て ・予定建設費: 約10億円
- ・建築面積: 515.24㎡ ・延べ床面積: 560.62㎡

#### ②建設の目的

- ・既存建屋の老朽化及び耐震不足への対応。
- ・防災拠点としての機能を充実させる。
- ・尾瀬の自然に関する情報発信及び自然環境学習への支援を充実させる。



### 3. 尾瀬沼園地内での工事に掛かる制約

#### ①現地での留意点

- ・豪雪地域のため、作業期間は5月中旬から10月下旬までとなる。
- ・外来種子等が含まれている恐れがある埋戻し土の搬入禁止。
- ・砕石等の搬入には外来種等の付着がないように留意する。

#### ②搬入搬出の留意点

- ・資材や重機の運搬は全てヘリ空輸となる。現地の気象状況は1日おきに雨が降るなど天候が不安定であるため、天候の影響を受ける輸送の年間計画が立てづらい。
- ・ヘリ空輸に伴う現場周辺施設に与えるダウンウオッシュによる影響。



### 4. ヘリ空輸に伴うダウンウオッシュ対策

空輸で使用する大型ヘリがホバリング中に発生させるダウンウオッシュは、人が転倒したり、建物の屋根や壁の一部が破損する危険性がある20m/s以上の瞬間風速を発生させる。

#### ※対策として

- ・現場周辺施設への影響が少ない方角から、ヘリを現場へ進入させる。
- ・資材を吊るすワイヤーを長くし、地上からヘリまでの距離を離す。
- ・大型ヘリの運用を最小に抑え、中型ヘリを多用する。

### 5. おわりに

国立公園であり豪雪地域でもある現場には、平地の現場とは異なり想定外の問題が多く発生します。今後も想定外の問題が発生すると思いますが発生時には迅速に、かつ、丁寧に対処し、多くの経験を福島県土木部の記憶として、継承し続けられるかが大きな課題となります。

